

恐怖の演出・ミッションがパワーアップ！
 お化け屋敷「怨霊座敷」夏の特別演出
 『超・怨霊座敷』開催
 2018年7月14日（土）～9月24日（月・休）

東京ドームシティ アトラクションズでは、2018年7月14日（土）～9月24日（月・休）の期間、今春新たにオープンしたお化け屋敷「怨霊座敷」の恐怖の演出・ミッションをさらにパワーアップし、夏の特別演出として『超・怨霊座敷』を開催します。

「怨霊座敷」は、2018年4月20日（金）に常設のアトラクションとして新たにオープンした、<靴を脱いで入る>お化け屋敷です。足を踏み入れた家では、かつてある男女の間に恐ろしい惨劇が起こっていました。床下に埋められた夜雨子の怨念は、今でもその場に残り、足の下からあなたを狙ってきます。靴を脱ぐことで無防備になった足元が、恐怖心を一層高めます。

『超・怨霊座敷』では、ストーリーのアレンジと恐怖演出のパワーアップを行い、新たに重要なミッションが加わります。お客様に与えられるミッションは<怨念が強く宿る夜雨子の足首を縄で縛ってくる>ことです。果たして、夜雨子の怨念を解いて無事に戻ることができるのでしょうか…。

17時以降の【ハード ver.(夜の部)】は、16時までの【ノーマル ver.(昼の部)】よりも恐怖の演出ポイントがさらに増し、恐怖度が何倍にもアップします。夏の暑さを吹き飛ばす恐怖のエンタテインメントを、ぜひお楽しみください。

【開催概要】

- ◎タイトル: お化け屋敷「怨霊座敷」夏の特別演出『超・怨霊座敷』
- ◎開催期間: 2018年7月14日（土）～9月24日（月・休）[73日間]
 ※7/2(月)～13(金)の期間、お化け屋敷「怨霊座敷」の営業は休止
 ※「超・怨霊座敷」開催期間終了後、お化け屋敷「怨霊座敷」は9/27(木)より営業再開予定
- ◎開催時間: 【ノーマル ver.(昼の部)】10:00～16:00
 【ハード ver.(夜の部)】17:00～22:00
 ※【ノーマル ver.】と【ハード ver.】で演出が一部異なる
 ※混雑状況により受付終了時刻が変更の場合あり
 ※8/11(土・祝)～15(水)は9:30開園
 ※9/1(土)以降は21:00開園
- ◎開催場所: 東京ドームシティ アトラクションズ ラクーアゾーン1F
- ◎料金: 金: 1,030円(【ノーマル ver.】【ハード ver.】共通)
 ※【ノーマル ver.】はワンデーパスポート・ライド5・乗り物1回券での入場可
 ※【ハード ver.】はワンデーパスポート・ナイト割引パスポート・ライド5・乗り物1回券での入場不可
- ◎入場規定: 6歳以上
- ◎企画・制作: (株)オフィスバーン
- ◎プロデュース: 五味弘文氏
- ◎映像演出: チームラボ
- ◎URL: <https://at-raku.com/attractions/laqua/onryouzashiki/>
- ◎Twitter: @at_raku_obake



お客様からのお問い合わせ先: 東京ドームシティ アトラクションズ TEL. 03-3817-6001

【ストーリー】

夜雨子は、蛾の収集が趣味の男とつき合っていました。しかし、男は標本部屋に別の女を連れ込むようになりました。
 ある雷雨の晩、停電に怯えた夜雨子が標本部屋を開けた時、何か柔らかいものを踏んでしまいます。次の瞬間、男の怒号が響きました。
 「大事な蛾を踏んだな！」
 その日を境に、男の態度は粗暴になっていきました。ある晩、男は夜雨子の手からアイロンを奪うと、それを彼女の足の裏に当てました。
 「お前が憎いんじゃない。お前のこの足が憎いんだ！」
 火傷を負った夜雨子の足の裏は壊疽を起こし、その毒が全身に回り始めました。一方、標本部屋からは、楽しそうな女の声聞こえてきます。夜雨子は、朦朧とする意識の中で、二人の声を聞きました。
 「夜雨子が蛾を踏んだなんていうのは、お前との関係をごまかすための嘘だったんだ」
 その声を聞いた夜雨子は、強い怨念を抱えたまま亡くなってしまいます。
 それ以来、この家では様々な怪奇現象が起こるようになりました。
 夜雨子の怨念を祓う方法はただ一つ。
 怨念の詰まった夜雨子の足首を、清めの荒縄で縛ってくることです……。

【お化け屋敷プロデューサー・五味弘文氏】

1957年、長野県生まれ。

1992年から、東京ドームシティ アトラクションズのお化け屋敷を手がける。お化け屋敷にストーリーを持ち込み、お客様に役割を担わせることでそのストーリーに参加させるスタイルを確立する。

東京ドームシティ アトラクションズでプロデュースしたお化け屋敷の代表作に、赤ん坊を抱いて歩く『赤ん坊地獄』、手錠に繋がれて歩く『恐怖の手錠地獄』、十年間隠れたままの男の子を見つける『恐怖のかくれんぼ屋敷』、怨霊の薬指に指輪をはめる『呪い指輪の家』などがある。

2018年夏には札幌、大阪、鹿児島など全国7ヶ所でお化け屋敷を展開するなど、お化け屋敷プロデューサーとして全国各地で活躍中。

『人はなぜ恐怖するのか？』（メディアファクトリー）、『お化け屋敷になぜ人は並ぶのか』（角川 one テーマ21）、小説『憑き歯〜密七号の家』（幻冬舎文庫）などの著書もある。

◆五味弘文氏プロデュースの東京ドームシティ アトラクションズお化け屋敷 代表作



五味弘文氏



1996年夏
『赤ん坊地獄』



2000年夏
『恐怖の手錠地獄』



2014年夏
『恐怖のかくれんぼ屋敷』



2015年夏
『呪い指輪の家』

【チームラボ】

最新のテクノロジーを活用したシステムやデジタルコンテンツの開発を行うチームラボは、プログラマー、エンジニア、CGアニメーター、数学者、建築家など、デジタル社会の様々な分野のスペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団。アート、サイエンス、テクノロジー、クリエイティビティの境界を越えて、集团的創造をコンセプトに活動している。47万人が訪れた「チームラボ 踊る！アート展と、学ぶ！未来の遊園地」などアート展を国内外で開催。他、「ミラノ万博2015」の日本館、5時間以上待ちとなった「DMM.プラネッツ Art by teamLab」、シリコンバレー、台湾、ロンドンでの個展、シンガポールで巨大な常設展など。

U R L: <http://www.team-lab.com/>

